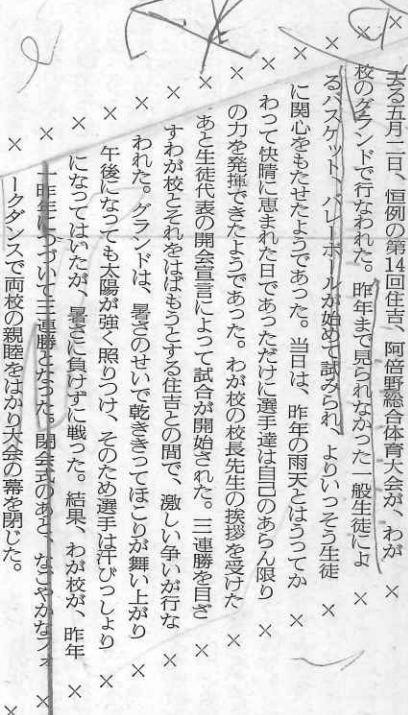


の兄すぎのようですナ▼ラジオの
 座も、おもしろいほんとに困
 っちゃうナ▼ラジオもけっこうで
 が、真夜中に大きな声で笑うの
 よして下さいね、近所迷惑です
 ▼最後にうれしさとわびしさを
 ツクスして針子一句▼夏休みま
 まだ近い冬休み

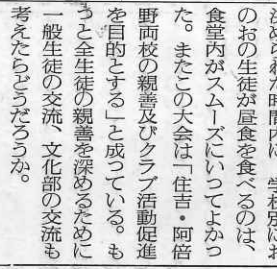
——針子

青空の下で—
明暗を分けた一点!



さて今回の新しいごごみは、
住吉・阿倍野両校の一般生徒参加
の、バレーボール・バスケットボ
ールの試合である。

得点には加えられなかつたけれ
ども、みんな一生懸命にプレーし
ていて、見ている也大へん気持ち
がよかつた。



だしたのだが男子は、二年生の奮闘もむなしく0対5とリードされた。結局、総合3対5と惜しくもわが校は敗れた。

軟 庭

前半から好調なすべり出しを見て、わが校は後半まで地力を発

女子バスケットは住高棄権のため不戦勝だった。

前半わが校はいきなりシュートを決め、好調なすべり出したつたしかしその後住高が調子を出してきてシュートがはいるようになり結局わが校は29対22で敗れた。

後半もわが校は同点まで追いつけたが住高にそのまま押しきられた。

男子バスケット

第一セツトから、わが校の女子バレー部は終始優勢で、結局二対〇でストレート勝ちした。

男子バレー

前半、わが校は調子が良く、15対6、0対15、15対4と、優勢であつたが、後半になると、12対15と、住高が少しづつ調子を上上げてきてわが校は押され気味となつた。結局、三対二でわが校の奮戦もむなしく惜敗におつた。

卓球

男子の方は、住高と五対二と
住高を押した切った。
そして後半も6対4で圧倒し
るに備えた。
あるところを見せ、後半への試
みは校は運動場を一周して余裕
を以て対峙した。住高は白旗を
前半の対峙の処置を白旗を

ハンドボールは例年どおり、

現在では野球に続き、空手の
サッカーブームを呼んでいる。海
回このブラジルでは、スポー
人口の第一位にランクされてい
わが校グラシンドでもサッカーブ
ムを反映して、熱っぽい試合が
なわれた。水をかぶつたような
ホコリの中で、つが夜上り

戦のすえ、わが校は打ち負けた。わが校の選手も場外にボールをつなど活躍したが、少差で惜しくも敗れた。

野 球

太陽のはげしく照りつけるなか、試合が開始された。激しく動くだけに両校の応援も一段と活を帯びているかのように見えた。

男子バレー

二年五組と二年三組とで、昭和四十二年度のクラスマッチの戦いの火ぶたが六月一日にきられた。

ふだんより驚異的な粘りを見せた一年は、プレーに専念し、規則違反もなく見えていて気持ちよかった。しかし、三年生は、実に規則に反することを目にあらまつた。例えば、他のクラスの者がはいって、二クラス、三クラスの連合軍が多数のチームでは行なわれた。サパーの順番でもA君、B君、A君、C君、A君といった具合である。人数にいたつては十人制バレーボールと決勝戦では、堂々と七人制バレーボールも行なわれた。三年四組と二年六組とは戦もあり接戦が一番よかった。

三十一日と二日とで二回の延長戦。

優勝 三の五
二位 三の七

女子バレー

二十五チーム、トナメント形式でまず一年四組と二年五組の試合で始められた。それに続いて、二年六組と二年一組……決勝戦に至るまで順調に行なわれた。

決勝戦は高学年のせいでもあるのか一年、二年をさしおいて三年生の一組と九組による試合であつた。第一セットは、九組の方が優勢で二組がタイムを取つたのに対して、第二セットは、一組が順調に点を取り返した。決勝戦だけあつて接戦が続く迫力が多分に見られた。

クラスマッチ

最初からわが校は圧倒的にリードし結局九三、五対六、五で例年どおりわが校の勝利となった。大会新記録なども出て活気に満ち賑り広げられた。

方のにリードして勝った。
女子も四対一でまったく住居を
寄せつけなかった。金銀的にみて
楽勝であったといえる。

永 泳
ちた競技だった。勝因はわが校陸
上部のたゆまぬ練習と選手への努力
にあるといえよう。



ストップ!

気が見られた。第三セットでは、一組が前セットの状態を保ち続け結果として三年一組の勝利に終わった。 優勝 三の一 二位 三の九	男子バスケット 全般的に見てやはり三年生が優勢であったようだ。 例年どおり、運動クラブ員は出場禁止であったがほとんど守れていなかったようである。この点については、人数の足りないクラスなどもあるので無理のないところであろう。なんとか自治会も対策をねってほしいものである。 観戦者は毎年少なくなっていくようだ、特に今年はひどく、男	三の一と三の五、行なわれた優勝決定戦は三の一に凱歌があがった。 前年は二の五がまじゅうシュートをきめて好調なすべり出しを見せたが、その後すぐに三の一のシュートがきまり、抜きつ抜かれつの高合戦となった。後半になって調子がでてきた三の一はシュートをよくきめて、10対10の同点となったがそこでタイムアウトとなった延長戦においても見たたのがある	女子バスケット 三の一と三の五、行なわれた優勝決定戦は三の一に凱歌があがった。 前年は二の五がまじゅうシュートをきめて好調なすべり出しを見せたが、その後すぐに三の一のシュートがきまり、抜きつ抜かれつの高合戦となった。後半になって調子がでてきた三の一はシュートをよくきめて、10対10の同点となったがそこでタイムアウトとなった延長戦においても見たたのがある	この連絡の不手ぎざ目立ち、来年度のクラスマッチに問題を残しているといえよう。 優勝 三の八 二位 二の二
--	--	---	---	--

われている。わが校でも主君この試合が行なわれ、最初、わが校選手は、気合と共に住高の選手を圧倒した。そして阿倍高生の血を沸

少差でかくも住高に勝った。			
	×	×	×

「柔道」に現在では、世界各国に広まって柔道をする人口が激増している。オリンピックでヘーリングには敗れたもののやはり日本の代表的なスポーツであって練習の成果が上がらず失敗が繰出

フリースタイルでは、わが校は圧倒的に住高をリードし、反対に平泳ぎ、背泳ぎなどでは住高に押さえられた。このように両校とも非常にアライトを燃やし、甲乙のつけがたい感じであった。しかし結果は劣差で住高の勝利におわつた。

柔道

かせたが、後半に移るに従つてじりじりと追い上げられ、ついに一分けをはさんで四連勝をきつし惜しくも一点差で負けた。

剣道

元気のよい気合いとともに初まつた剣道はわが校の勝利となつたしかし両校ともよく戦ひ、力の差

去る六月五日、突如勃発した中東戦争は六日間における激戦の結果イスラエルの圧倒的大勝利に終わった。アラブ連合空軍は地上において、ほとんどが壊滅、又戦車隊もイスラエル戦車の前にあつてなくくずれ去った。最後まで戦ったシリアも、ついに国力を使い果たした感じである。

勝てば官軍、負ければ賊軍——勝者と敗者、結果は明らかである。これは、今後の中東情勢にどのような影響を及ぼすかは、世界の人々の注目すべきところであらう。

一九四八年、イスラエルが独立を獲得して以来、イスラエルとアラブ諸国との間には、依然として、たい戦争が、続けられていた。またしても五月十五日、イスラエルとアラブ諸国の国境の間に不穏動きが現われはじめた。

十六日、アラブ連合は「イスラエルがシリアを攻撃すれば、イスラエルを攻撃する」と警告、十九日シリア半島の国連軍、撤退開始アラブ連合軍が配置につき、イスラエル軍と直接対決の態勢となる。

十二日、ナセル、アカバ湾の参謀総長は五日夜、イ

封鎖を宣言。危機は一そう深刻となる。二十三日、ウ・タン長、カイロへ飛来。ジョソソ大統領は、アカバ湾の自由航路をイスラエルの支持を、い、アラブ側の支持を、それぞれ、

明 六月一日、イスラエルの方力派、ダヤン将軍、国防相として入閣。六月五日、ついにアラブ諸国イスラエル間に戦争勃発。

イスラエル軍のラビ

情勢

スラエル

スラエルが全戦線にわたつて空軍の優勢を確保、敵機三百七十四機を破壊し、さらに三十五機にも損害を与えたようであると次のように発表した。

「イスラエル軍は、シナイ半島ガザ地区およびヨルダン国境で重要陣地を奪取した。イスラエル空軍はアジア連合、シリア、ヨルダンおよびイラクの空軍に大打撃を与えた。」

一方カイロ放送は、アラブ連合軍機甲部隊がシナイ半島で反撃に転じ、イスラエル領内に進入した」と伝えた。

明けて六日、アラブ連合とヨルダンに米英機がイスラエルに加担している」と非難発表によるに、イスラエル軍は六日エラサレム、ガザ地区、シナイ

利己主義の満性化

中東戦争の一番の原因は、アカバ湾の封鎖である。しかしその事件だけでなく、流血の戦争は防がなくてはならぬ。現在米、ソ、仏等の大国はイスラエルの独立を事実上認めている。しかしアラブはイスラエルが人工的なもので、はつきりする。発展の爲に世界中に散在している千数百万のユダヤ人を本国へ迎えようとしてゐる。その目的のため、領土の拡大と中東及び国際間においての権力の増大ということである。またその方法が、を急頭においてゐるものと考えられる。

入るのに、いちいち許可を得る必要がでてきておもしろくない。互いに牽制して結論を出さうという動きの中で、五月二十日、アラブが一步前にアカバ湾を封鎖したのである。またその方法が、他国を無視した利己的なものであ

とは独立を主張しないと主張している。その考えからイスラエルとアラブはパレスチナ戦争、スエズ紛争を経て、今もなお、こぜりあいが続いている。その隙に定てアラブは、先の戦争で取られた自国の領土を奪回、またアラブがもっている宿命的なイスラエルへの闘争心というものが、この戦争に直接関係しているといえよう。

一方イスラエルにしても、このようなきっかけを利用して、国家

アカバ湾というのは、国際水路であるのか、アラブあるいはサウジアラビアの領海であるのか、今

の現状でははっきりできない。自由航行となれば、アラブやサウジアラビアは、海岸3海里の領海というものを認めないと非難してくる。

反対にアラブ・サウジアラビアの領海となれば、イスラエルにしてもイスラエルの領地であるアカバ湾最奥の都市エイラトへ紅海

決を急いだ国民性

アラブの民衆は、戦争にノミの入りし、所持していたのである。加勢をえて、イスラエルに對抗しようと考えた、イスラエルに反対しているのか、満足感というのか一種の自信というのが湧いてきた。事実イスラエルは多量の兵器を購置、政略軍営からも、有位な地位に立

特
中東戦争
集

道理通らぬ
国際紛争

諸国はイスラエルに比べて、劣つていたといえよう。六月十二日にエシコル・イスラエル首相は議会において、「エルサレムは手放さぬ」と演説したとおりの戦いは、まだまなこれからであろう。

弱い国連の力

軍備化が進み、戦争」に突入するのは時間の
に突入するのは時間の
った時、即時解決のため
理事会上ではアラブが主張
カバ湾の自由権」、アメ
びになっていた。
国連の手落ちの中で、ついにイ



5月29日 ネゲブ砂漠にイスラエル軍が待機。

古代エジプトと イスラエル

ラエルにほかならない。
それからしばらくして、およそ三千五百年前頃に、彼等に一大事件が生じた。
おそろしく飢えをさけるためにエジプトのデルタ地帯の一隅に移住したこれらの一神教徒たちは、エジプトの神王アオの部下たちに奴隷扱いをされ、強制的に働かされるという苦しみを受けた。ユダヤ教の中興の祖ともいふべきモーセによるエジプト脱出の物語は、「出エジプト記」の中に詳しく描かれている。
滞在の地ゴゼンから紅海への道をこつたイスラエ人たち、勝利の歌を口づてきながら今のエズス運河の中間あたりに入江渡り、シナイ半島の中心部へと進んでいった。
現在聖カトリック修道院がひっそりと立ちなイ・モーゼの山で、モーセは十戒をさづけられて、ユダヤ教の基礎をたため、一行はついに約束の地、カナンを目ざして北へ進んでいった。

野球用品・キャンプ用品 登山用品・アクアリング用品

★一流品を超安価で御奉仕!!

GO SWIM UP FOR DEEP WITH SPORTMATE'S SWIMMING GEAR

SPORTMATE®

スポーツメイト®

■ 大阪市阿倍野区阿倍野橋8丁目97番地
■ TEL.(大阪 06) 621-8774 番

王子神社（市バス・王子神社前）南へ100m

ギタ－教室

クラシック科・フラメンコ科・ポピュラー科

(高6回生) 吉田 稔 主宰

学本前南へ300m 福永温泉角東入

T E L (623) 8 5 7 7

